

ふじぐみ



この度は、コロナウイルス感染による、学級閉鎖へのご協力ありがとうございました。

さあ発表会に向けてスタートだ!!と話し合いをスタートしようとした矢先の感染拡大でした。発表会週から順番に復帰し水曜日辺りに全員揃う予定ですが、全く取り組みのないままセリフと動きだけを1、2日で覚えて行う発表会でいいのか?と考えました。

ふじぐみとしては、「みんなのことを考えて、みんなのために自分の強い気持ちを発揮することで、みんなと力を合わせたい」と、みんなで決めたみつばちマーヤのお話だったのに…

○クラスの半分の友達だけで劇の内容や役を決めてしまっているのか?

○当日参加になるかもしれない友達が内容も出番もわからず、楽しさや達成感を感じられない気持ちで、園生活最後の発表会を終えていいのか?

○それで終わった発表会で、強い気持ちで出来た、力を合わせられたと感じられるのか?と考えました。



みんなで場面のアイデアを出し合い、マーヤの気持ちを話し合っセリフや動きをなど…みんなで考えて決めて、お話を作り上げていきたい。また、お話のどこかに自分の意見やアイデアが盛り込まれている、ここは自分のやりたかった場面、言いたかったセリフなど思い入れをもって演じられるようになっていくという、過程を大事にしたいという結論に達しました。

そこで次のお願いです。

2月17日(金)18日(土)のふじぐみの生活発表会は一旦延期とし、

3月25日(土)の卒園式当日の式終了後に披露するという形をとらせていただきたいと思います。

勝手なお願いになりますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※卒園式は各家庭保護者2名に参加していただけるように計画しております。

